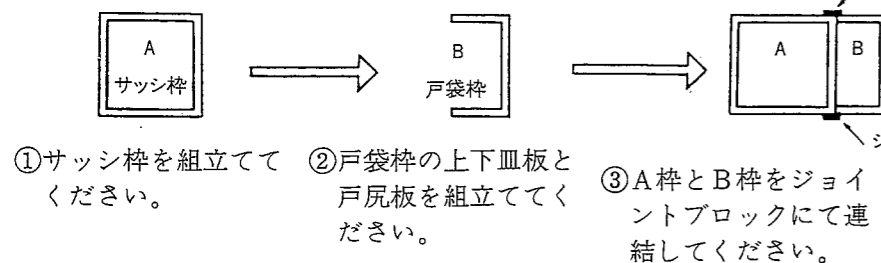


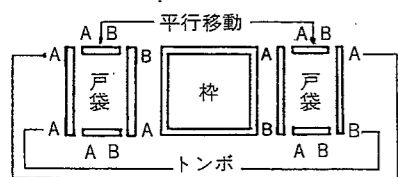
テクト外付雨戸サッシ<戸箱>組立施工マニュアル

〔組立方法〕

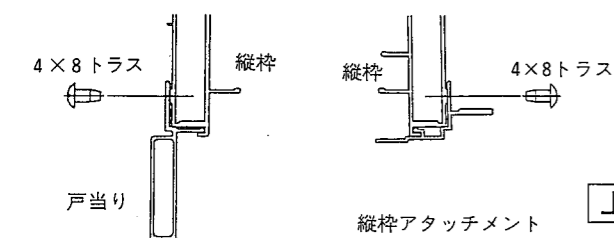


〔戸袋の組替え〕

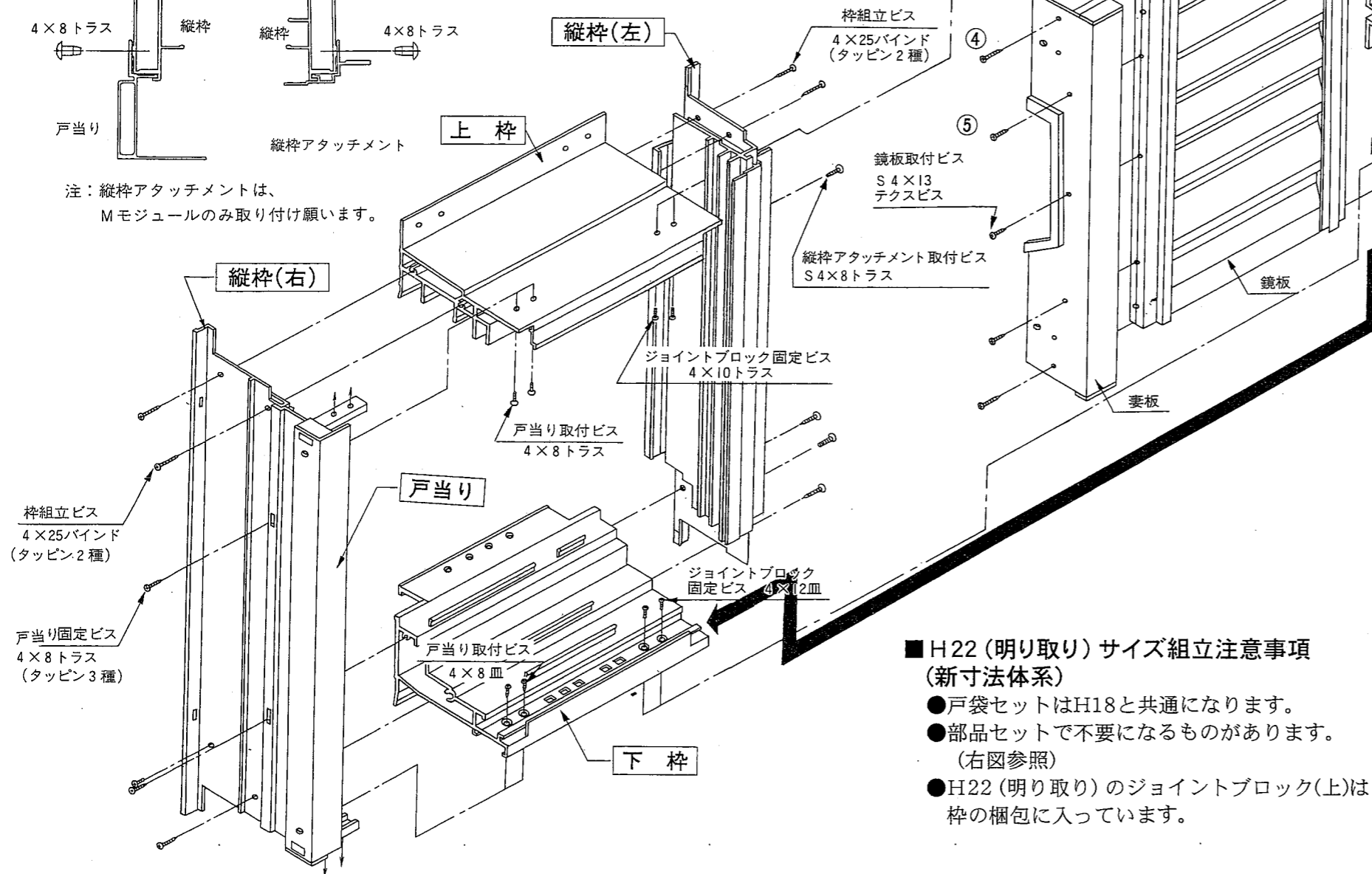
戸袋の左右勝手の区別はありません。戸袋の上下皿板は平行移動、(上下皿板アタッチ材は図-1参照)及び戸尻板、妻戸はトンボ(天地ひっくり返し)にて戸袋の組替えが出来ます。納まりに応じて組立ててください。



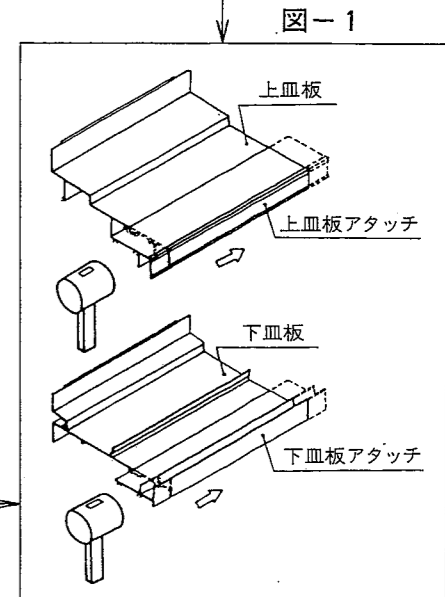
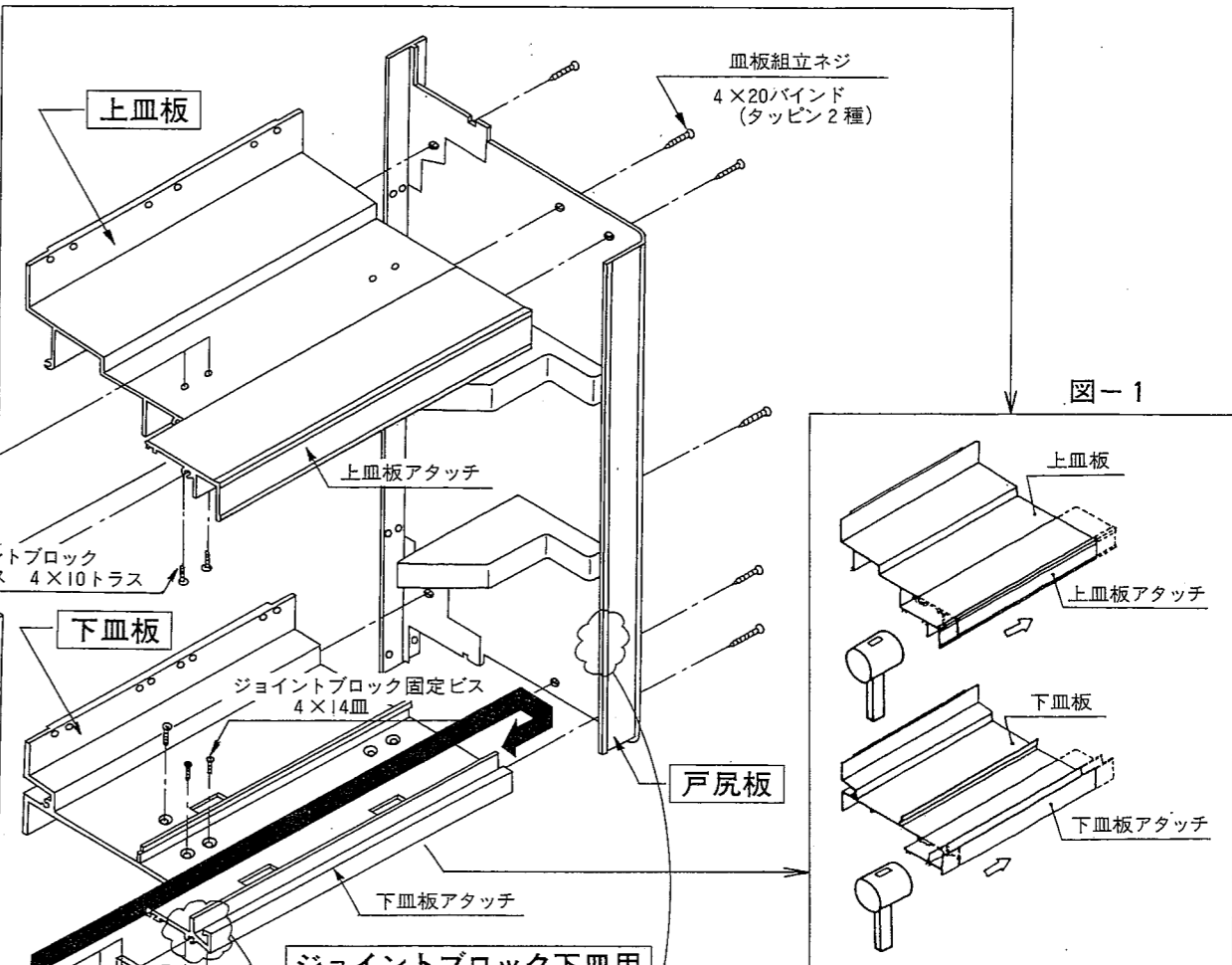
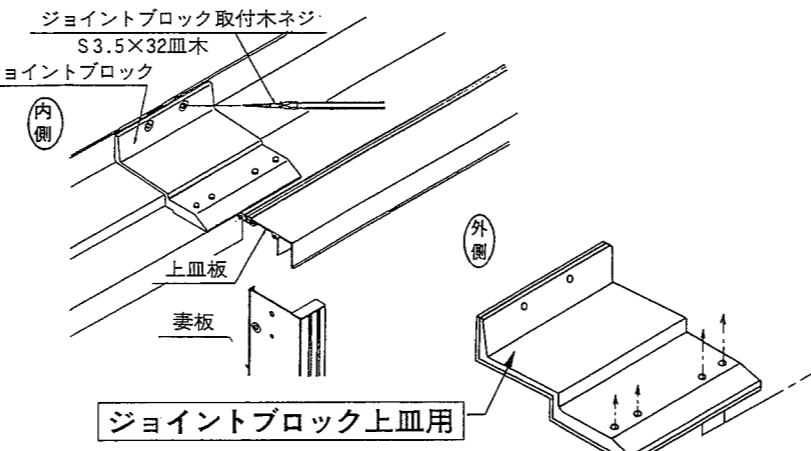
〔戸当り、縦枠アタッチメントの取付方法〕



注：縦枠アタッチメントは、Mモジュールのみ取り付け願います。



お願い ジョイントブロックを取り付ける木ネジが打ちづらい場合は下図の様に妻板を取りはずし(戸尻妻板はそのまま)木ネジでジョイントブロックを固定してください。



※上下皿板アタッチは左右に動きますので、戸袋の取付け勝手にあわせて、上図の様な作業を行なってください。尚、アタッチ材が硬い場合は、木ハンマー等で軽くアタッチ材の小口を叩いてください。その際、小口がつぶれない様に注意してください。

■鏡板取付方法

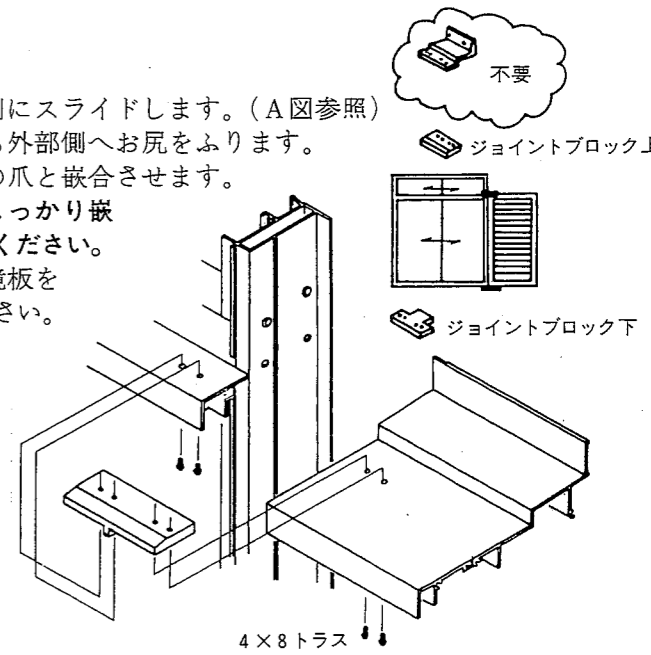
- ①鏡板を下皿板の上のせ戸尻側にスライドします。(A図参照)
 - ②戸尻側に鏡板を押しつけながら外部側へお尻をふります。
 - ③妻板へ鏡板をひっぱり戸尻板の爪と嵌合させます。
- お願い** B図のように鏡板と戸尻板がしっかり嵌合しているかどうか、確認してください。
- ④、⑤ 妻板を取り付け(固定)鏡板をテクスビスで固定してください。

■H22(明り取り)サイズ組立注意事項(新寸法体系)

- 戸袋セットはH18と共通になります。
- 部品セットで不要になるものがあります。(右図参照)
- H22(明り取り)のジョイントブロック(上)は枠の梱包に入っています。

■H22サイズ組立注意事項(旧寸法体系)

- 戸袋セットはH:17サイズと、H:22サイズとが共通になります。
- 部品セットで不要になる部品があります。(右図参照)
- H:22のジョイントブロック(上)は枠の梱包に入っています。



サッシ枠は、テクトII・テラストタイプを示す。

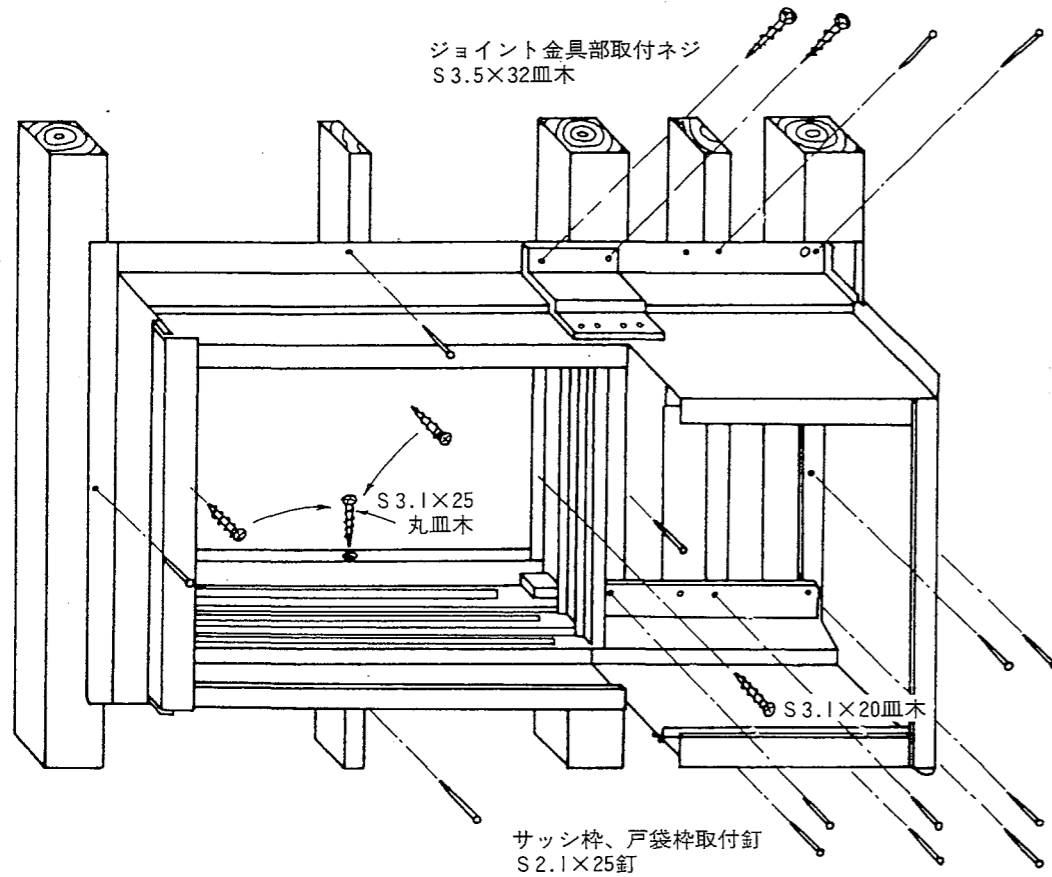
テクト外付雨戸サッシ<戸箱>組立施工マニュアル

■施工店様へのお願い ・本マニュアルでは、お使いになる人や他の人の財産への損害を未然に防ぐため次のような絵表示をしています。

< お願い 「必ず行なっていたく事」を示しています。 >

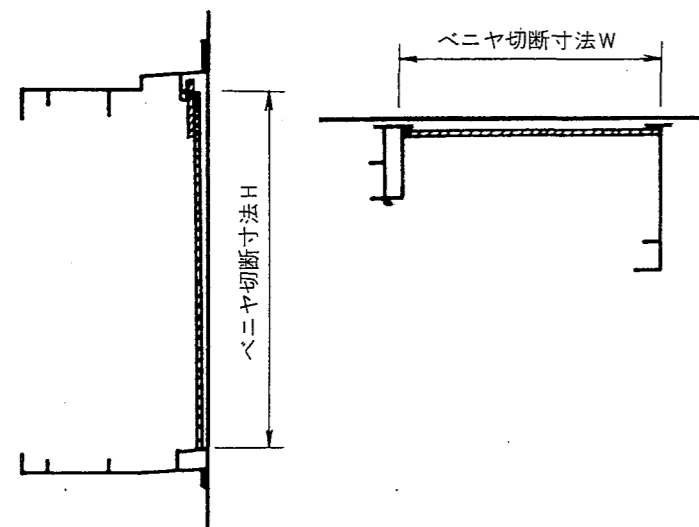
(1) 取り付け

●妻板及び鏡板を組立てない状態で取付けます。



(3) 戸袋内部の壁仕上

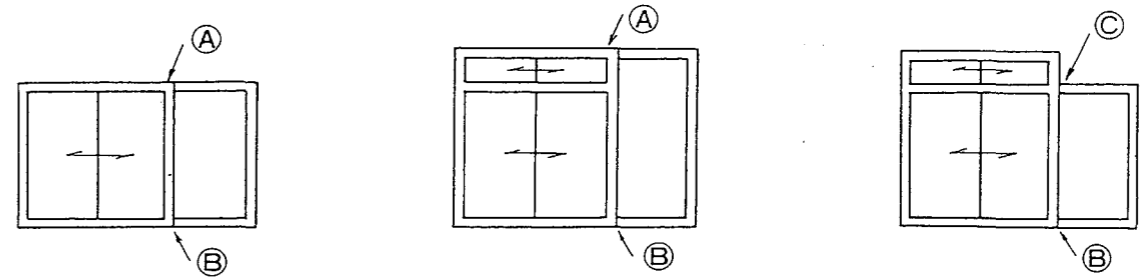
●戸袋内部をベニヤ等で壁仕上する場合は、下表の切断寸法公式を参考にして下さい。



切断寸法 W
AW (雨戸 W) + 10
切断寸法 H
H + 47

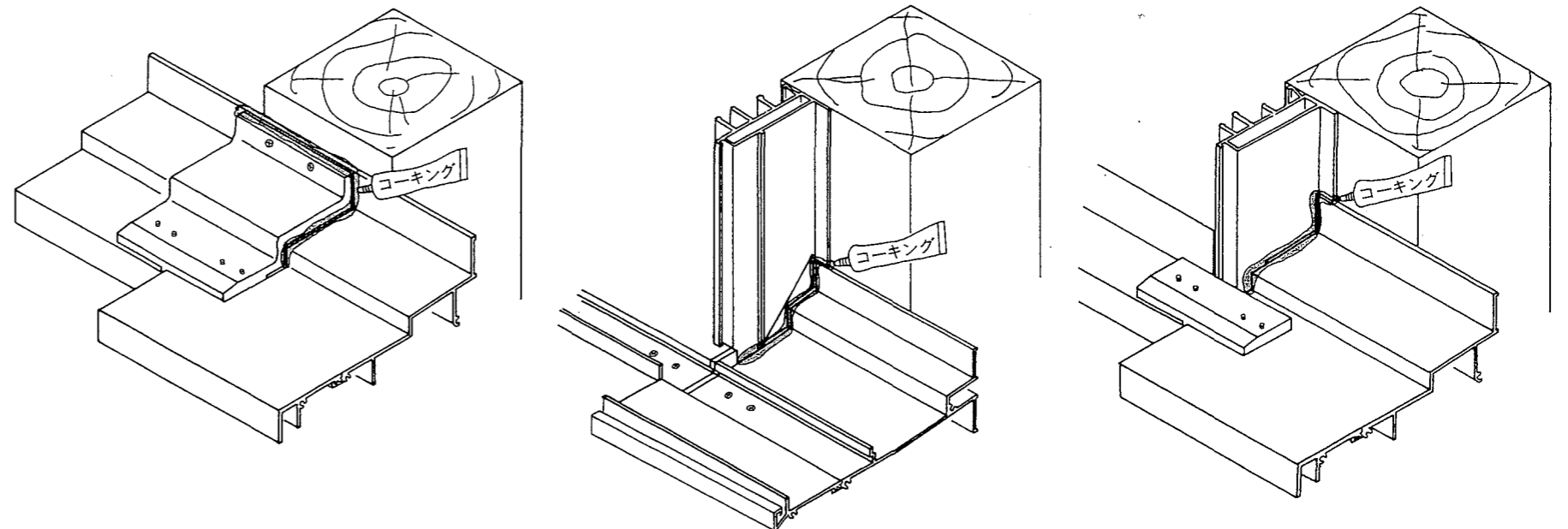
(2) 雨仕舞のためのコーキング

お願い 雨仕舞を良くするために必ず下図に示す箇所にコーキングをして下さい。



マド・テラスタイプ テラス段窓タイプ(雨戸通し) テラス段窓タイプ(明り取り)

(注) コーキング箇所の汚れ、ホコリを拭き取った後、コーキングして下さい。



(4) 鏡板の取付及び雨戸の建て込み

〔鏡板の取付〕

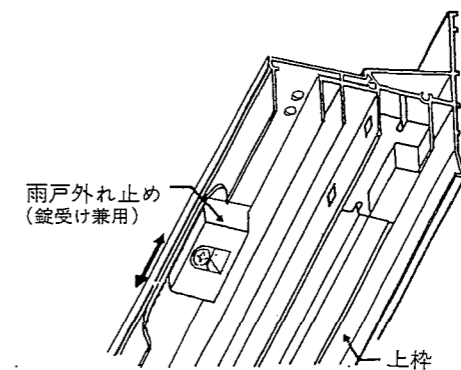
- 鏡板を取付ける前に枠側雨戸レール及び戸袋内の清掃をして下さい。(取付詳細は裏面の組立説明書を参照下さい)
- 鏡板を取付ける前に戸袋の取付状態を確認して下さい。枠の上・下レールと一直線になっているかどうか確認して下さい。(右図参照)
注意 戸袋の取付が悪いと、鏡板の取付けが出来ない場合があります。

●雨戸の建て込み

- 前面からケンドン(上げおろし)にて雨戸を建て込んで下さい。(尚、雨戸ハズレ止めは枠に付いていますので雨戸建て込み位置に注意して下さい。)

●雨戸外れ止め(錠受)の調整

- 雨戸外れ止めはビスをゆるめるだけで左右に移動できます。雨戸上錠受を兼ねて使用する場合は雨戸(戸袋側)センター付近に固定し錠と固定して下さい。(右図は外観右戸袋時を示します。)
- 上錠はBKEY23・24を使用して下さい。



- 良い例 ○ 下枠と下皿板が直線になっている。
- 悪い例 × 戸袋側が上がっている。
- 悪い例 × 戸袋側が下がっている。